

えでぴあ

立川と語ろう 立川に生きよう

May 2018

Écoutez Bien Vol.35 No.402

5

アンケート調査に潜む罠？



表紙の人／植木とお茶 三代(上砂町)

砂川のうぶすな様

案内人：豊泉喜一氏

うぶすな（産土）様とは氏神様、鎮守様と同じ意味で、生まれた土地を守護する神として昔から各地に祀られている神社をいう。私が子どものころはこの神社のことを「おぶすなさま」といっていたが、この言い方は最近ほとんど耳になくなった。以前紹介した同じ地域にある金毘羅山の金毘羅神社や浅間神社、各所にある稲荷神社等は産土様とはいわない。砂川の産土様は砂川四番にある阿豆佐味天神社で、寛永6年（1629）御鎮座以来、来年390年を迎える。

本殿は元文3年（1738）建築といわれ、昭和45年に立川市有形文化財に指定され、現在立川市においては最も古い木造建築で、造られてから280年を経て彩色も剥げ、部分的に腐食が見られる事から御鎮座390年事業として修復が進められており、これが終わると築造当初の姿を拝むことができそうである。

砂川には四番組の阿豆佐味天神社の他に産土様が四社あるので次にこれを紹介したい。

【阿豆佐味天神社】西砂町5-10番地

この神社は殿ヶ谷新田の産土神で、享保5年（1720）殿ヶ谷分水が開通、現瑞穂町の殿ヶ谷村の村請新田として開発が始まり、その時親村の産土神であった阿豆佐味天神社を分社勧請したもので、砂川村の産土である阿豆佐味天神社と兄弟社である。この神社は毎年10月最初の土曜日夜、地域の人たちで結成した「殿ヶ谷一座」が村芝居を上演するので、機会があればぜひご覧をお勧めする。宮司は四番組の阿豆佐味天神社が兼務している。

【神明社】西砂町3-21番地

砂川の最西端中里新田の産土神で享保3年（1718）勧請、祭神は天照大神である。ここも現羽村市川崎の人たちが開拓した村請新田。神社は元々新田集落の西端にあったが、戦後隣接する米軍横田基地の拡張により現在の場所に移設。本来の境内地は横田基地内にある。この神社も中里地域開発以来の人たちが氏子の産土様である。ここも宮司は阿豆佐味天神社宮司が兼務している。

【諏訪神社】西砂町2-19番地

この地域も殿ヶ谷、中里と同じ頃、現昭島市の宮沢地域の人たちにより開発された新田で、親村の諏訪神社を分社勧請した。規模も小さく宗教法人になっていない神社で、祭祀は宮沢の本社が行っている。

【愛宕神社】栄町2-45番地

学校法人昭和第一学園高校の隣に鎮座する神社。かつて芋窪新田といわれた地域の産土神で、享保時代現東大和市芋窪村の人たちで開発された地域。親村の豊鹿島神社の境内社を勧請した神社で、祭神は火伏せの神といわれる「迦具土神」。現在では広く栄町地域の氏神として信仰されている。祭祀は阿豆佐味天神社宮司が兼務している。

続・砂川深層 お疲れさまでした。

豊泉喜一さん、昭和5年6月9日生まれの子。まだまだお元気で、畑仕事もちゃっちゃとやるし、何よりすごいのは記憶力！現在も、立川市文化財保護審議会会長、立川民俗の会会長、立川市福祉協議会理事、立川教育振興会理事、武蔵野の里作りクラブ理事、国営昭和記念公園こもれびの里クラブ代表、阿豆佐味天神社責任役員などなど、たくさんの要職につかれています。今一番力を入れているのは立川市史編纂事業なのとか。とにかく無理せずお元気でください。

興味深いお話の連続だった「続・砂川深層」は今回が最終回になります。1年後、砂川の生き字引から立川の生き字引へ。「立川深層（仮題）」としてまた豊泉さんにお話を綴ってもらいます。次回からこのコーナーでは、駅弁にとっても詳しい沼本忠次さんが中央線のお話をしてくださいませ。お楽しみに。



アンケート調査の重要性

統計数理研究所
データ科学研究系 准教授
工学博士 朴堯星氏

ここが研究室?と思うほどきれいに整頓され、絵や花で飾られていた。
ニコニコと人懐こい笑顔を絶やさず話す。しかし、話の内容は重要なことだった。

——2016年2月に立川市と統数研の協働シンポジウム「1万人調査が描き出す立川市の魅力」で解説をされました。

朴 立川は難しいですね。税収も人口もそれなりにある。地方創生に関する研究をやっている私から見ると、ある種かなりうまくいっている自治体です。それだけに難しいですね。立川市がどんなビジョン、総合企画をもって、この先どのように施策を打ち出していくか。周辺自治体を含めた広域でとらえていくといいと思います。

——地方創生の研究といたしますと。

朴 三重県の研究を続けています。三重県は行政評価を全国で初めて実施しました。行政の仕事というのは、法律に則って事業を作り、立てた事業に対して予算を得て、その事業を執行するというのが一通りの流れです。お金のある時はそれでいいのですが、お金がない時代にはこの事業が本当に必要かどうかを考えなければなりません。

——それはそうですね。

朴 自分のうちの家計を考えれば当然のことですが、行政はそう簡単にはいかない。そもそもその発想がない。それを国より早く三重県は実施しました。県の全事業に対してチェックしましょうと。

——行政組織が自らをチェックするというのは、やりたくないことかもしれないですね。

朴 今までしなくていい仕事をするに繋がりますからね。しかもそれをするためには組織全体で意識改革をしなければならぬ。意識が変わらないと、形式化した調査に終わってしまいます。そういう意味合いもあって三重の事

例はとても面白いと思いました。

——具体的には?

朴 まず働く人の考え方、動機付けです。携わっている当事者自身が、この行政評価をやることに意味があると思わない限り、調査は適当に終わってしまいかねない。ですから、働いている人の意識調査からです。全庁レベルでの調査を依頼し実施しました。知事が代わったので、知事が代わった時には中間点検をしましょうということで、5000人ほどの三重県全庁職員全員に1か月くらいかけてアンケート調査とインタビューをしました。

——その行政評価の結果、事業は削減されたのですか?

朴 もちろんです。だいぶ減りましたよ。三重県の現知事は全国でも一番若い知事ですが、私のやってきたことが評価されて統数研に異動した年に、三重県の政策評価の委員にという依頼があり、夏は必ず三重県に行っています。私のお父さんくらいの年齢の方に意見したりするのですが、三重県の素晴らしいところは、形式的な会話に終わらず1年後に必ずフィードバックされて「こんな風に変更しました」と言ってくるところです。おそらく他の自治体とは職員皆さんの意識が違うのでしょう。

——組織を引っ張る人の思考方法そのものが変わったんですね。

朴 そうそう。ある個人が良くて変わったというストーリーではなくて、組織の体質が変わることが大事です。優秀な公務員がいたから街は変わりましたでは持続性はありません。——過疎にも取り組まれているとうかがいました。

朴 はい。今年度からいくつかの自治体を回って調査します。三重県全体の問題にもなっている過疎化。三重県はイタリアのように南北に長くて、北側は大都市にも近く豊かです。でも伊勢とか鳥羽とか南側になると過疎化がひどい。移住を促して努力しても定住しない。それはなぜか。行政では移住者に意見は聞いていたけれど、「住民はなんて思っているんですか?」と尋ねてみたら、それは調べていなかった。受け入れる住民に聞くという発想がなかったんですね。それで、じゃ、私が調べてみますと言って調べてみたら、ここが重要だということがわかりました。地域住民との「パーソナルネットワーク」がカギになっているんです。田舎には良さもあるけれど、厳しさもあるわけですよ。裏のおばあちゃんがいい人で助かったという事例があって定住するということもありますが、それだけでは個の事例であって一般化できない。私はモデル化したいわけで、似たような自治体で地域住民と、2年以上住んでいる移住者にアンケート調査して経路的に表現することにしています。

——自治体とは?

朴 三重県では津市、松阪市、尾鷲市、伊賀市、鳥羽市。プラス東京も必要だと思ったので、新島と式根島。東京島しょ地域の高齢化率は半端でなくて、また島という特別な状況にも興味があります。船だと12時間くらいかかるのに、飛行機に乗れば35分で行けるんですよ。高齢化は進んでいるのに介護施設は少なく、東京都内だからあきる野市の施設に移されるそうです。文化的にも距離的にも伊豆の方が近いのに、それって介護になるんでしょうかね(笑)。



——アンケートを取るのもインタビューするのも、言うのは簡単ですけど地道な作業ですよ。

朴 調査が面白いのは、現場をきちんと見ることができるから。見ながら物が言える。アンケートってよくありますよね。でも、アンケートするということ、誰かに調査を依頼するということは、実はその背景がとても大事です。私は国民性調査というのもやっていますが、例えば日本人の国民性調査は、各回とも層化多段無作為抽出法で、2,254〜6,400名の標本を抽出し、個別面接聴取法で実施しています。日本人の特徴をきちんと備えた人たちの言っていることを基に日本人一般の意見を考える。それは統計的な計算をしているわけです。推定という言い方をしますが、ちゃんとしたサンプリングをして推定するから意味がある。

——はい。

朴 でも私たちが身近によく目にするアンケートの中には、そういうちゃんとした段階を経ているものはほとんどない。しかもサンプリングの重要性ということの意味がわかっていない。サンプリングを間違えたら、母集団をきちんと表すことにはならないです。

——ええ、わかります。

朴 確かに回答した人たちの意見ではあるか

報を流すというのは、私は罪だと思います。時間がかかっても、何がかかっても、ちゃんと真実だと言えるものを発信するから意味があります。そういう意味で、統計数理研究所というところは日本で初めて社会調査の方法論を確立したところだし、それを実際に初めて実施した研究機関で、統計学の最高峰。東工大から統数研に異動するというのも、最高の府に来て学ぶのですから研究者としては自然なことです。それでも受かるとは本当に思っていなかった(笑)。

——でも、先生飛び級だし。

朴 受からなかったらしょうがない。しょうがないと言えるまでに私がやれることは全部潰してやる、とは思っていましたよね。後悔はしたくないので、潰すものは全部潰す。物事に対しては何であってその姿勢です。

——先ほどの国民性の調査ですが、「今度生まれるときは女性がいいか、男性がいいか」とか。

朴 そうそう。国民性の調査というのは、今回が14回目になります。5年に1回やるんですよ。人々は時間や環境で変わります。変動しますが、それをずっと追跡する、続けることが重要なんです。だから同じ質問をします。時代によって「女性に生まれたい」という人が増えたり、減ったり。

朴堯星氏

ソウル市出身。法学部公共政策学科から飛び級制度で年齢より早めに大学院に進学、その後日本の文部科学省留学生として2001年10月に来日、東京工業大学大学院社会理工学研究科社会学専攻へ。社会の問題に対して理系的に考えることを学ぶ。文理融合の中で修士、博士課程を終え東工大で助教として研究を続けている時に、統計数理研究所の公募に受かると思わず応募。合格し、2012年4月から現職。2018年4からは准教授。早口で堪能な日本語は日本に来てから習得したそうだ。国立市在住。

もしれないけれど、この人たちの意見がこの背景にある日本人を表すとは言えない。サンプルを適当に集めて勝手にやったのでは情報の錯乱でしかない。こんな情報化社会で意味のない情

——恣意的と疑いたくなるアンケートもあります。

朴 本当の意味での調査とは恣意性をまったくおかずに、背景にある状況を読み取ることが重要です。世の中でちょっとやるアンケートは、今そこにいる人の意見が聞きたいというもので、それを社会調査とか世論調査と言ってしまうのは危険です。そんなことはないとは思いますが、そういう結果を基に施策を打ち出すとかあったら本当に怖いです。その重要性に、一般の人は気づかないといけない。メディアが行ったり来たりするだけで世論は変わります。そんな危ういものを根拠に物事を決めるというのは、これだけ予算が厳しい時にいいはずもなく、それを鵜呑みにする皆さんも悪い。

——そうですね。

朴 マーケティングなどで「これ売れてます」というのはただの情報収集。そもそも社会調査とか世論調査というものは、そのような情報収集とは異なります。今、現代社会がどう思っているのかということをちゃんと測る。「ちゃんと」という文字の意味は、統計的に正しいサンプリングをして、そのサンプリングをもとに正しく歪みのない項目を考えるということです。アンケート項目は開発します。項目は、言い方によっても人々を誘導することもでき、意見は変わってきてしまう。1項目を開発するためにものすごく考えます。たぶんその重要性に気づけている人は少ないと思いますよ。

——先生はお仕事が楽しそうですね。

朴 研究は楽しんでやっています。楽しいことが仕事になっていて、ましてお給料までいただいて、こんなにハッピーなことはないと思っています。性に合っているのかもしれないですね。地方に行く度に電車に乗りますよね。車窓からの風景がきれいだと思います。きれいな風景だけじゃなくて、人とのつながりも好きなんです。出合いが好きですね。

認知症を考える

わたしは大丈夫かな？

若くても他人事ではない病気。高齢になればなおさら。
長寿社会を上手に生きるには、どうしたらいいのかを考える。

昨年7月に新棟移転した国家公務員共済組合連合会 立川病院。平成24年より東京都の指定を受けて認知症疾患医療センターを開設している。記憶力に不安のあるえてびあんスタッフが、お話を聞いてきた。

【脳神経内科の医師から】

服部英典 先生

立川病院 脳神経内科部長 認知症疾患医療センター長

認知症というとアルツハイマーを想起されると思いますが、認知症の症状を出す疾患は多くあります。高齢で脳が縮んでしまう変性性認知症やビタミンB1の欠乏、葉酸の欠乏にも記憶力障害があります。認知症と間違われるものに甲状腺機能低下症や側頭葉にできる腫瘍などが挙げられ、治療可能な病気かどうかを血液検査やMRI、CTを使って検査し、診断・鑑別します。認知症ですと、本人は物忘れを認識していませんから自分から受診するということはありません。ご家族に付き添われて受診します。飲むべき薬が大量に余っていたり、同じことを何度もきく、同じものばかり買ってくるなどという変化にご家族や周囲の方が気づきます。

アルツハイマー型認知症にも治療薬はありますが、根治はしません。パーキンソン病とレビー小体型認知症はよく似ていて、パーキンソン病関連疾患と言うこともあります。パーキンソン病による震えとか体が動かなくなるといった症状が先に来て、5～10年経って認知症の症状が出た場合には、やはりパーキンソン病が主体です。そこにアルツハイマー型が合併することもあります。逆に最初から認知機能が落ちる、日内変動があって正常な時と認知症状が交錯する場合にはレビー小体型認知症と言います。レビー小体型認知症でもパーキンソンの症状が出ないこともあり、脳や心臓の交感神経機能などの検査が必要です。ある種のたんぱく質の蓄積が関連していますが、その原因はわかっていません。ただ、100歳を超えても認知症にならない方たちは善玉コレステロール値が遺伝的、体質的に高く、脂質異常、高脂血症、悪玉コレステロール値が高い人、糖尿病の人などはアルツハイマー型認知症になりやすいということはわかっています。また社会の中で役割のある人、地域貢献や趣味など、なにかしら社会と関わって役割を持っている人は認知症になりにくいです。1日誰とも口をきかないでテレビを見ていたり、ぼーっとしていると認知症になりやすいですね。

高齢者の方は環境の変化に弱いので、認知症やアルツハイマーが進行してしまう場合があります。医療者の立場からは、どうしてもという場合以外は、環境を激変させることはお勧めしません。ご家族と同居しているの方が治療はうまくいきます。薬の管理ができないとそもそも治療になりませんから。立川市では6つの地域に分けて包括支援センターが設置されています。そこにひとりずつ指名された医師がいて、独居の方の情報が立川市に入った場合は、医師と専任の看護師がケアワーカーさんと一緒に、認知症になっても本人の意思が尊重され住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、ご自宅を訪問して受診を促しています。

【精神科の医師から】

桑原達郎 先生

立川病院 精神神経科部長

大まかには、精神症状があれば精神科、認知症の症状だけであれば神経内科とされています。精神科は受診しにくさがある、それが困るところです。例えば外から人が入ってきて自分を害するかもしれないという思い込みがあった場合、認知症であっても精神病であっても、それ以外のたとえばノイローゼでも起る症状ですから、その辺の鑑別をしなければなりません。それに伴う妄想があった場合には、神経内科では鑑別できないこともあります。精神科を受診するときにはだいたい症状が重くなってからの場合が多いです。もうどうにもならない、どうしてもっと早く来られなかったのかということ。精神的な症状が出た段階で、周囲にまだ気取られていないうちに受診していただくとあまり影響はありません。が、近所の方とトラブルになってからだと、もう社会に戻せなくなってしまいます。実際には社会的トラブルが起きてやむにやまれず精神科へということが多いのが、精神科としての悩みです。兆候がでたら早めにご相談いただけたらと思います。

レビー小体型認知症の妄想型も最初から精神科を受診するといいですね。老年期精神病と診断されますが、いわゆる精神病と言われているもののかなりの割合でレビー小体型認知症の初期だと思われます。後から物忘れや認知機能障害が起きるので、一般の内科などで認知症と診断されなくても、やはり認知症を疑ってかからなければならない。検査をしてみるとレビー小体型認知症である場合があります。薬がありますので治療できるわけです。物忘れの薬だけではありませんので、社会的トラブルが起きる前に治療を始めることが大切です。

精神疾患の定義は社会生活に破綻が生じることです。うつ病も精神疾患です。初期の段階ですぐに精神科へ来ることはあまりありません。内科や開業医のところでちょっと治療して、なかなか治らないと専門へとなります。うつ病に出すべき薬はある程度決まっています、その最初の薬か二番目の薬を最低でも10か月飲み続けると、6割の人は良くなります。残りの4割、薬が効かなかった方が精神科を受診されます。薬は日進月歩、国際基準で日々アップデートされています。それに対応して勉強し自分のスキルを上げているのが専門家です。単なる睡眠薬などでずるずる引き伸ばさず、しっかりと専門家である精神科にご相談いただくことが、認知症でもその他の精神疾患でも大事なことです。



桑原達郎先生



認知症に対応しているチームのみなさん

【認知症看護認定看護師・ソーシャルワーカーから】

神山和子 さん

立川病院 地域医療連携センター 認知症看護認定看護師

黒田美奈子 さん

立川病院 ソーシャルワーカー 社会福祉士・精神保健福祉士

医師の診察を受けた患者さんは今後の療養について、私たちとお話をします。使える介護保険や食事のバランス、日常生活のこと、ご家族の様子など詳しくお話をうかがい、認知症療養計画書に沿って説明します。服用されるお薬の副作用などについてもこちらで説明します。各市の包括支援センターについて説明し、早速行ってみましょうかとお声掛けし介護保険の申請などをしてもらいます。認知症を診断された後も診断されたさにせず、社会とつながりをもって進行を防いでいこうと働きかけます。若年性の方ですと金銭的な問題も生じてきます。立川近辺では、若年性認知症相談センターが日野にありますので、そちらに私たちの方で連絡をとって患者さんの状況を伝えて連携するようにしています。高齢の方の福祉サービスは充実してきているのですが、若年性は支援が特殊です。病院はもちろんですが、障害福祉サービスや年金のことを相談できる支援センターをご紹介します。



神山和子さん(左)と黒田美奈子さん。



認知症の検査を受ける。ここではいわゆる長谷川式を加味した総合的な口頭の検査が行われた。臨床心理士 中野彩さん。(右)



患者会の皆さんの様子 立川共済病院では「認知症 ご家族の集い」を開催している。ひとりで悩まないでお互いの悩みや経験などを共有することが、毎日の介護を楽にしてくれる。

【事例 中村さん(仮名)の場合】

ホテルマンとしてバリバリ働いていた主人の様子が少しおかしいと最初に気づいたのは、同居していた私の母でした。電気を切り忘れる、ボーっとしていることがあるなど誰にでもあるような些細な兆候でした。本人ひとりで脳神経外科を受診、診断は異常なし。母が念のため他の病院も受診したらと勧めるので、今度は物忘れ外来のある病院へ私と一緒に行きました。そこで「若年性アルツハイマー病の初期」と診断されたのです。その時主人は55歳でした。それから4年間は病気の進行も穏やかで、最初の頃は誰も主人がアルツハイマー病だとは気づかず、仕事にもきちんと行っていました。覚えることが困難になり、職も転々とし、58歳の時には外で働くことはできなくなりましたが、家事はできる限りやってくれていました。デイサービスに通い始めた59歳頃から物事への興味がなくなり、それまで大好きだった本を読むこと、映画を観ること、書くこともできなくなり、60歳で徘徊が始まり、若く体は元気なので自転車まで出かけてしまい何時間も帰ってこなくて心配が絶えない日々となりました。行政のGPSサービスを利用して行動範囲はわかるようになりましたが、行動を止めることはできません。日ごとに症状が重くなり、半年後には自宅の部屋の中を5～7時間ぐるぐる回るようになり、ケガや事故が怖くてとうとう入院させました。入院という環境の変化に戸惑い、排泄場所がわからなくなった主人は、病院内の廊下や共同部分で排泄するように。身体的にも変化が出て、背が高く90kgあった体重は現在60kgを切り、前かがみの姿勢になっています。

困ったことは、若くて元気なので動きまわり、終始心配が絶えなかったこと。経済的にも負担が大きく介護サービスを十分に受けられなかったこと、悩みを聞いてもらえる団体はあっても、高齢者の認知症とは異なるように感じ悩みを共有できなかったこと。在宅介護している間は、同居家族の精神的、肉体的ストレスは大きく、入院させてからは孤独感や罪悪感に疲弊し、精神病院の入院費用にもストレスを感じています。



えくてびあんの輪

えくてびあんはリストのお店にあります。
今月は 高松町・曙町 のお店です。

高松町

米穀・食料品 横町屋…………… 522-2609
中華料理店 太幸苑…………… 527-0906
セイロン風カレー シギリア…………… 507-2418
ふじ整体院…………… 540-9155
ライブハウス Crazy JAM…………… 529-9507
立川湯屋敷 梅の湯…………… 522-3800
ヘアーサロン イトウ…………… 522-6281
立川伊勢屋 本店…………… 522-3793
書籍・雑誌 フレンド書房…………… 527-1555
大野サイクル…………… 523-2061
パンのお店 Dragee ドラジェ…………… 525-2730
立川キリスト教教会…………… 526-6826
サロン・ケベクア美容室…………… 527-4716
HAIR MAKES たしろ…………… 525-2175

曙町

うなぎ しら澤…………… 524-5061
中華料理 福心楼…………… 524-2343
久住ハウジング(株)…………… 527-8007
不動産 大晋商事…………… 525-3110
ヤマミュージックアベニュー立川…………… 523-1431
蕎麦懐石 無庵…………… 524-0512
TABACCONIST ゼフィルス…………… 524-0514
ブティック ASHUTE VENI-VENI…………… 521-1481
ビストロ シェ・タスケ…………… 527-5959
あら井銘絵本店…………… 522-2957
大衆劇場 立川けやき座…………… 512-5057
立川伊勢屋 ルミネ店…………… 524-3395
たましん すまいるプラザ立川 0120-667-646
オリオン書房 ルミネ立川店…………… 527-2311
みずほ銀行 立川支店…………… 524-3121
コスモール 辰己屋…………… 524-6051
エミリーフローグ 本店…………… 527-1138
キャフェ クリムト…………… 526-3030
黒毛和牛専門店 焼肉 FUKI…………… 523-0166
宮地楽器 MUSIC JOY 立川北…………… 527-6888
TAKE THE HONEY スイーツ…………… 523-8200
三井住友銀行 立川支店…………… 522-2151
レストラン サヴィニ…………… 525-1662
立川献血ルーム…………… 527-1140
アートルーム 新紀元…………… 528-6952
MOTHERS ORIENTAL…………… 528-0855
たましん 本店…………… 526-7700
和食どころ 若草茶屋…………… 526-0010
三上饅頭店…………… 522-3259
エフエムたちかわ…………… 524-0844
ラ・フランス…………… 529-5522
ビックカメラ 立川店…………… 548-1111
Charcoal Dining るもん…………… 527-3022
酒亭 玉河…………… 522-2654
三菱東京UFJ銀行 立川支店…………… 524-4121
玉屋 KITCHEN…………… 595-7847
立川グランドホテル…………… 525-1405
カフェ アバン…………… 527-4479
手打ちそば しゃも もと…………… 529-5468
シンボラン…………… 522-6211
天ぶら わかやま…………… 525-0222
多摩水族館…………… 524-0288
すし 菓正 簡屋…………… 522-4433
すし 魚井…………… 522-3437
園部肉店…………… 522-2901
Cut Studio SOFIA…………… 528-3241

jorakugajo

真如苑提供番組「常楽我淨」

スカパー！：529ch

スカパー！で放送の常楽我淨は
スマートフォンアプリ「ivy」（無料）で視聴できます。

J:COM 多摩：111ch

放送時間については番組表をご確認ください。

www.shinnyo-en.or.jp

街の話題

第16回応現院文化講演会 ロバート キャンベルさんの登場です！

多摩地域、ことに立川の皆様の交流の場として始まった応現院文化講演会。2006年3月に応現院が落慶して12年、文化講演会も16回を迎えます。講師としてお迎えするのは、ロバート キャンベル氏。テレビや新聞、雑誌などのメディアに登場されることが多いので、ご存じの方もたくさんいらっしゃるでしょう。立川市緑町にある国文学研究資料館の館長として昨年4月立川に赴かれてより、立川青年会議所のキッズドリームチャレンジで小学生のインタビューに応えられたり、立川立飛流錫馬では英語解説をなさったり、また商工会議所主催講演会で講師をなさったりと積極的に立川の街に溶け込まれています。そんなキャンベル氏が語る「日本人の楽観と憂鬱」。ちょっと難解なタイトルですが、だからこそキャンベル氏ご本人からそのお話を直に聴かせていただきますしよ。

第16回 応現院文化講演会

『日本人の楽観と憂鬱

——「楽しく生きること」を 人々はどう考えてきたか——』

【講演者】

ロバート キャンベル氏

日時 平成30年6月17日（日）15時開演（14時30分開場）
（講演時間は90分を予定しています）

会場 応現院（立川市泉町935-27）

主催 応現院文化講演会実行委員会

協力 有限会社えくてびあん

協賛 真如苑

〈応募方法〉

聴講には事前のお申込が必要です。ご希望の方は下記要領に従って、インターネットまたは往復はがきでお申し込みください。なお、聴講は中学生以上の方が対象となり、お申込多数の場合は抽選となります。（定員700名様）

①PC、スマホよりインターネット応募フォームで申し込む。
http://www.bunkakoenkai.jp



②往復はがきで申し込む。住所、氏名、年齢、電話番号、希望人数（本人含めて2名まで）を明記し、〒190-0023 立川市柴崎町2-1-10 高島ビル4階 えくてびあん講演会係 まで郵送する。

〈応募期間〉

インターネットの場合は、平成30年4月19日（木）～5月19日（土）17時まで、往復はがきの場合は、平成30年4月19日（木）～5月19日（土）必着。

立川プロスポーツ連絡会★

3月12日（月）立川商工会議所において、立川プロスポーツ連絡会調印式が行われました。調印したのは、TACHIKAWA DICE EXE.組織委員会会長 佐藤浩二氏、トヨタアルパルク東京株式会社 代表取締役社長 林邦彦氏、東京ヴェルディ株式会社 代表取締役社長 羽生英之氏、BCクリエイト合同会社 東京ヴェントス代表 二戸康寛氏、NPO法人 府中アスレティックフットボールクラブ会長 千葉岳志氏。プロスポーツが連携し街と関わることで、商業都市としてのイメージが強い立川に新たな一面が見えてきそうです。

★印のついている記事は、えくてびあんのブログ

「立川は Ecoutezbien えくてびあん」に詳しく掲載されています。



ロバート キャンベル氏〔プロフィール〕

Robert Campbell

日本文学研究者、国文学研究資料館長
ニューヨーク市出身。専門は江戸・明治時代の文学、特に江戸中期から明治の漢文学、芸術、思想などに関する研究を行う。テレビでMCやニュース・コメンテーターなどをつとめる一方、新聞雑誌連載、書評、ラジオ番組出演など、さまざまなメディアで活躍中。

主な編著：『ロバート キャンベルの小説家神髄 現代作家6人との対話』（NHK出版）、『J'ブンガク 英語で出会い、日本語を味わう名作50』（東京大学出版）他。

〈お問い合わせ〉

応現院文化講演会実行委員会

TEL 042-523-9898

受付時間：土日祝を除く10時～17時まで。

左から 千葉氏、羽生氏、佐藤氏、林氏、二戸氏



立飛駅近くにもうひとつ★

立飛駅の西側、アリーナ立川立飛の南側に（仮称）立川立飛ドームが建設されます。3月29日（木）諏訪神社さまにより、その地鎮祭が行われました。このドームは東レパンパシフィックオープンテニス2018開催で使用予定です。女子テニスも最近とても面白くなってきています。8月には大相撲の巡業、9月にはテニスと、立飛駅付近から目が離せません。

晴天の下、アリーナを眺める関係者の皆さん

BリーグにAI登場★

アルパルク東京 #70CUE 身長190cm ポジションはシューティングガード。狙ったシュートははずさない。製作したのはトヨタ技術会の皆さん。インフォーマルな団体で、仕事の合間を縫って約半年で作ったそう。人型にするところに苦労したというロボットは、繰り返しで学習するAI。すでに#3安藤誓哉選手、#10ザック バランスキー選手には勝っていて、3月28日（水）多摩モノレールプレゼンツ 栃木ブレックス戦のハーフタイムでは、#6馬場雄大選手と引き分けました。

立川にフェアリージャパン！★

3月12日（月）、13日（火）、アリーナ立川立飛で第10回アジア新体操選手権大会、第16回アジアジュニア新体操選手権大会 日本代表認定式が行われました。それぞれの演技もすばらしく、さすが日本代表選考会!と思わされました。エキジビションには、今回選ばれたジュニアとシニアのジャパンチームに加え、なんとフェアリージャパンが登場！まさか立川でその演技が観られるとは！にこやかに美しく、すばらしい演技でした。



演技終了後の認定式の様子



フェアリージャパンの演技

花粉光環と彩雲★

春先、スギ花粉が飛散し始めると現れるのが花粉光環。肉眼でも見え、スマホでも写真が撮れます。光環がこんなによく見えるということは花粉がたくさん飛んでいるということ、嬉し哀しの現象です。縄文・弥生時代からスギと共に生活してきた日本人。大量に植林されたスギの木が、木材輸入自由化で放置された結果大量に花粉が飛散、本来は無害だったスギ花粉がアレルギーになってしまったというお話。患者は急増、マスクや目薬、鼻を洗う器具など、アレルギー症状を改善するための研究は重ねられ、ついには「元から立たなきやダメ！」とばかりに花粉の出にくいスギの開発まで。花粉が飛ばなくなるのはありがたいことですが、そうなるとこの光環は見られなくなるのかも。ちょっと残念な気がします。ところで、国文研の古典籍の中に、光環の記述なんてないのかな？

3月15日夕刻 光環に加え上空に広がる彩雲



表紙の人

梅田光司さん、富夫さん、高靖さん

この道一筋の植木屋さん。昨年12月には光司さんが、全国で30人という伊勢神宮農事功労賞を受賞され、今年に入って富夫さんご夫妻が、小池都知事も参加された第59回東京都農業委員会・農業者大会で表彰されと、一筋の力は大きいです。砂川と言えばケヤキ。ケヤキやアメリカハナミズキは立川の土壌、風土が合うらしく、質量ともに全国1位という産地です。立川の産業を支える梅田家、高靖君も家業を継ぐのかしらとよければ、小さい頃からご自宅前の砂川分水で釣りのまね事をしていたとかで、大間のマグロ漁師になる？のだとか。今は勉強ではなくて、学校が大好きだそうで、マグロ漁師の夢もまた別の夢に変わるかな？今回は新築されたご自宅のリビングルームでの撮影となりました。

かたこと

◆新年度が始まりました。入学式は葉桜の下という所も多かったでしょう。今年のソメイヨシノはバツと咲いてサツと散って行きました。気温の変化が激しくて、衣替えが長引きます◆入学式と言えば、立川では新しく若葉台小学校ができました。けやき台小学校と若葉小学校が閉校、統合されて若葉台小学校に。新しい毎日が始まります◆表紙モデルの梅田家は苗木を卸しています。ケヤキは立川の産業の1つ。立川産のケヤキは他の産地のものと育ちが全然違うそうです。でも立川の農地は徐々に減っていて、昭和38年旧立川市と砂川町が合併した時には約830haあったのに、今では約260ha。後継者があって初めて残せる農地。若い農業の担い手の皆さまには、大変でしょうが頑張ってほしいです◆4月2日、開発中の立飛みどり地区にヤギが10頭やってきました。ここにヤギが来るのは今回が最後です。過去4年間、暑い日もありました。大雨もありました。花火に驚いた日、体調を崩して一度全員りんどう湖に帰ったことも。みどり地区で生まれたかわい子ヤギの姿は忘れられません。7月2日が除草任務完了日。それまで、時々会いに行きましようか◆『砂川深層』『続・砂川深層』をえくてびあんのブログに全文掲載しました。ご興味のある方はクリックしてみてください。多くの人と語らって、これからも街と人、人と人をつなぐえくてびあんでありたいと思います。 えくてびあんスタッフ一同

えくてびあん ⑨

5月号 第35巻 通巻402号

平成30年5月1日発行
発行 有限会社えくてびあん
〒190-0023
東京都立川市柴崎町2-1-10 高島ビル4F
TEL 042-528-0082 FAX 042-528-0065
E-mail message@tamatebakonet.jp
URL http://ecoutez.exblog.jp
発行人 黒須 環
企画・写真・編集 えくてびあん編集スタッフ
デザイン 池田隆男（WATER DESIGN ASSOCIATES）
印刷 三浦印刷株式会社・DECK C.C.

無断転載を禁じます。

Écoutez Bien May 2018 No.402

左から
#10 ザック バランスキー選手
#1 小島元基選手
#13 菊地祥平選手
手にしているのは、
焼き玄米ドーナッツとマドレーヌ。



Tasty! 立川スイーツ…………… 4

毎回登場 #13 菊地祥平選手。前回お休みだった #10 ザック バランスキー選手。日本スイーツ協会認定スイーツコンシェルジュスペシャルアンバサダーに挟まれているのは、#1 小島元基選手です。やっぱり甘いものが好きだそうですよ。

今月のスイーツはエミリーフローゲのお菓子。画家グスタフ クリムトが生涯愛した恋人の名がエミリーフローゲ。店名が示すように、お菓子1つひとつに愛が溢れています。立川お土

産推奨品の「Ange まどれーぬ」と「焼き玄米ドーナッツ」。いずれも立川産の「こだわり卵」を使用する立川愛！今回は「アルバルク東京、がんばれ！」の意味を込めて、店頭から赤いプチガトーを集めてきました。香りがいいとか、おいしいとかいろいろ言いながら食べた3人の共通コメントは「エミリーフローゲのケーキは、挟む系とか閉じ込める系、中から何か出てくる系が多くて期待させる。見た目にきれいで、おいしくて楽しい」でした。